

# 町会連だより

■編集・発行  
福島市町内会連合会

■事務局  
福島市地域共創課  
電話 024(525)3731

こけし育む 健康・湯の里 土湯 住んで居る、訪ね観る、誰もが憩う光るまち

地区連合会活動紹介<sup>⑭</sup> 【土湯温泉町町内会連合会】

私たちの地区を  
紹介します！

## 土湯温泉町町内会連合会について

当町内会連合会は、町内会数10町内会、加入世帯数107世帯、人口約320人で構成されています。

小規模町内会をまとめ、婦人会・消防団・観光協会などと協力役割分担しながら地域の課題に取り組んでいます。

定住人口減少、少子・高齢化、空き家等の問題を抱えながらも、地域コミュニティづくりを進め、安全安心を実感できる、心豊かできれいなまちづくりを推進します。

## 土湯温泉町について

土湯温泉町は、清流と温泉と豊かな自然のもと、多くの観光客が訪れる観光地です。その歴史は決して順風満帆ではなく、水害や大火など数々の災害に見舞われながらも、地域が一致団結し、復興してきました。昭和2年の大火では50戸、昭和29年の大火では70戸以上の家屋等が焼失しましたが、先人たちが苦難を乗り越え、復興し再生しました。彼らの思いを受け継ぎ、今でも地域は協力し合いながらさまざまな課題に取り組んでいます。その際には、「自助、共助、公助」という価値観を大切に、課題の克服を目指しています。

## 花いっぱい運動

3月、土湯温泉町地区では磐梯朝日国立公園内の花々が次々と開花していく春の花リレーが始まります。これを祝い、住民や観光客が集う場所に花苗を植栽し、設置しています。

7月には夏の花リレーとして、地域の美化活動が展開されます。花苗を植栽するとともに、街中の舗道を中心に清掃活動が行われます。

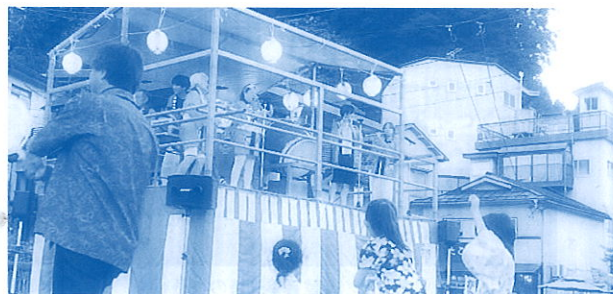


花植えの様子

## つちゆ盆踊り

8月、地域コミュニティ等支援事業補助金を活用して、「伝統芸能保存と次世代への継承事業」として取り組み、土湯温泉町の夏の風物詩「つちゆ盆踊り」を支所前広場で開催。

多彩な催しが行われ、老若男女、笑顔と踊りの輪が広がりました。



盆踊りの様子

## 防災訓練

10月、実行委員会が組織され、地震時の避難所として指定される土湯温泉町支所の駐車場で訓練が行われました。

訓練では、震度6強の大地震、建物倒壊、火災、断水などの状況を想定して実施されました。約30名の参加者が各町内会や旅館施設から集まり、福島南消防署信夫分署長の防災講義を受講した後、AED（自動体外式除細動器）訓練やCPR（心肺蘇生法）訓練、消火訓練が行われました。

参加者には簡易消火器、アルミブランケット、給水袋、非常食などが配布され、非常時に備えるための「ローリングストック」など、日常生活での備蓄品の使用と補充の重要性が呼びかけられました。



防災訓練の様子



## 令和6年度(後半期)のおもな活動内容



### 1 活力ある地域づくり実現のために —要望活動—

令和6年12月25日(水)福島市役所において、当連合会の正副会長から町内会等への支援強化について要望を行いました。

佐藤守連合会長は、要望書の手交にあたり「町内会への加入率は年々減少傾向にあり、町内会を取り巻く環境は厳しさを増している。町内会役員の負担軽減や事業の見直しなど、コロナ禍を経て時代に合った運営への切り替えを図っているが、近年の物価上昇は更なる町内会費の圧迫、運営の制限に繋がっており、快適で住みよい地域社会の実現、さらには地域コミュニティの推進に支障をきたしてきている。当連合会は、引き続き各地区との連携・情報共有を密にし、町内会加入促進の取り組みをより一層推進させるほか、コロナ禍により希薄となった地域コミュニティを繋ぎなおし、活力ある地域づくりの実現のため、今後も住民自治の発展に努めて参りたい。」と語りました。

これに対し、木幡市長からは「町内会の皆さん、特に役員の皆さんにはいろんな面で多くの仕事をしていただ

き感謝申し上げる。我々も皆さんの負担が非常に大きくなってきていることを重々承知しており、そのためにもいろんな政策として、回覧板を回す負担を軽減するため電子町内会や、今年度は高齢化の比率が高い蓬萊地区に自動草刈機を導入し貸し出すことを始めた。これからも町内会の自治が機能すると同時に、皆さんの負担軽減ができるよう図っていききたいと思う。」とのコメントをいただきました。

#### 要望の結果について

令和7年度の各種交付金の増額が決定しました。

■ 町内会等交付金  
世帯割額：770円から 790円へ増額

■ 地区町内会連合会交付金  
世帯割額：63円から 64円に増額

※両交付金とも、均等割額に変更はありません。



要望書手交時の様子



意見交換の様子

### 2 各地区の課題解決に向けて —市政研修会—

令和6年10月8日(火)福島市役所清水支所において、各地区連合会長など23名参加のもと、市政研修会を開催いたしました。

今年度の研修内容は、役員会において町内会が抱える課題について情報共有し、市の重点施策をメインに協議を行い、「電子町内会推進事業」と「河川水位予測システム」の2項目としました。

「電子町内会推進事業」とは、市からの情報を町内会へ迅速に伝達することや、町内会活動の情報発信を推進し、地域コミュニティの維持・活性化を図ることを目的としています。講義では、事業開始に至った経緯、デジタル化によるメリットのほか、参加町内会の取り組みなどについて説明を受けました。参加町内会からは、データによる回覧は市から紙で郵送される場合と比べ、1週間程度回覧開始が早くなった、情報が一斉に配信できて楽になったという意見がある一方で、データによる回覧体制の構築が難しい、スマホでは画面が小さく見づらいなどの課題や問題があることがわかりました。また、電子町内会推進アドバイザーの方にもお越しいただき、参加者から質問のあった町内会が抱えているデジタル化に関する課題や疑問について、専門的な知識やこれまでの経験をもとに助言をいただきました。

そして、もう1つの研修項目となった「河川水位予測シ

ステム」とは、ゲリラ豪雨や線状降水帯といった局所的な豪雨に係る避難情報発令の迅速化を図るため、リアルタイムかつより正確な水位予測情報の取得を目的に導入されました。講義では、システムの特徴や導入に伴う効果のほか、市の情報収集及び情報発信体制などについて説明を受けました。近年、全国的にも局所的な豪雨が頻発し、甚大な被害をもたらす可能性が高いことから、人的被害を最小限に抑える取り組みの重要性について再認識しました。

今回の研修を通して、地域、そして町内会としてどのようなことに取り組んでいけるかを考える有意義な時間となりました。今後も、様々な研修会等を開催し住民自治組織、そして地域の課題解決に繋がるよう、会員の資質向上に努めてまいります。



研修会の様子